

2018年 3月 27日

ベトナムの公営デベロッパー「BECAMEX IDC Corp.」との覚書の締結について

NTT 東日本は、ベトナム南部ビンズオン省の公営デベロッパーである Becamex IDC Corp. (ベカメックス IDC社 以下、BECAMEX) と、ビンズオン省のスマートシティー化の早期実現に向けた通信・ICT分野における協力について、2018年3月26日に覚書を締結いたしました。

1. 背景

ベトナムでは近年、各自治体がスマートシティー化を目指した取り組みを進めています。ベトナム最大の都市であるホーチミン市に隣接するビンズオン省でも、Intelligent Community Forum(ICF) ^{※1}が選定するSmart 21 Communities of the Year Awardを2021年に獲得することを具体的目標に掲げ、同省の公営デベロッパーであるBECAMEXが中心となってスマートシティー化の実現に向けて取り組んでいます。

BECAMEXは1976年の設立以来、工業団地や住宅地、都市交通インフラ等の整備を進めてきたほか、2008年にはVietnam Post and Telecommunications Group (以下、VNPT)との合併会社であるVietnam Technology & Telecommunications Joint Stock Company (以下、VNTT)を設立し、BECAMEX開発エリア内における通信・ICT事業を担ってきました。

また、NTT東日本は、グループ会社であるNTTベトナムを通じて、約24万回線の電気通信網の建設および事業運営指導や、NTTベトナムとVNPTとの合併会社であるOCG Technology Joint Stock Companyを通じたクラウドゲーム卸事業の推進等、ベトナム国内におけるビジネス展開を行っています。

このような背景の中、BECAMEXとNTT東日本は、ビンズオン省のスマートシティー化の早期実現に向けた通信・ICT分野における協力について、2018年3月26日に覚書を締結いたしました。

※1 各国自治体による経済開発を目的としたブロードバンドと情報技術の利用に焦点を当てた調査をもとに、インテリジェント自治体の表彰を毎年行っている国際的非営利組織。

参考： <http://www.intelligentcommunity.org/>

